

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立向日が丘支援学校 】

<スポーツ庁テーマ>

1実践テーマ	【 III V 】
2実施対象者	<p>(1)「学校祭 体験コーナー グラウンドゴルフ」 ～ボールをよく見て打ってみよう～ 全校児童生徒170名</p> <p>(2)「グラウンドゴルフ ゲームを楽しもう」 高等部1年7組、2年8組 生徒14名</p>
3展開の形式	<p>学校における活動</p> <p>(1)「学校祭 体験コーナー グラウンドゴルフ」 ～ボールをよく見て打ってみよう～</p> <p>① 教科名（特別活動） ② 行事名（学校祭）</p> <p>プレイルームやグラウンドに競技のコーナーを設定。地域のグラウンドゴルフチームの方々に競技について教えていただいた動画を見ながら小学部から高等部までの児童生徒が競技を体験し、親しんだ。 体験コースと本格的なコースを設定して楽しめた。</p> <p>(2)「グラウンドゴルフ ゲームを楽しもう」高等部</p> <p>① 教科名（体育）</p> <p>地域のグラウンドゴルフチームの方々に来校していただき、競技のルール等を教わりながら試合を行い、競技を楽しみながら交流を行った。</p>
4目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドゴルフで交流することを通じて、本校の理解を深め、共生社会の実現に向けた機会とする。 ・スポーツをとおして、様々な人と繋がる喜びを味わう。 ・障害の有無に関わらず、自分の力を精一杯だし、競技することで自己肯定感を高める。
5取組内容	<p>(1) 11月4日(水)～6日(金) 「学校祭 体験コーナー グラウンドゴルフ」 ～ボールをよく見て打ってみよう～</p> <p>①事前学習 各学級でグラウンドゴルフのコーナーについて児童生徒の実態に応じた説明を行った。</p>

②当日

各学部の児童生徒がスケジュールに合わせて設定されたコーナーでグラウンドゴルフを行った。

地域のグラウンドゴルフチームの方々の協力を得て作成した動画で、大まかなルールについて知った。ゴールを決めた場面では拍手をしながら視聴する様子も見られた。地域の方々が児童生徒達への応援メッセージも述べてくださり、グラウンドゴルフへの意欲や関心を高め、動画ではあったが地域の方々との交流にもなった。

プレイルームでは、グラウンドゴルフを経験する取組を行った。短い距離にゴールを設置し、動画で地域の方々に教わった打ち方を練習しながら楽しんだ。小学部の児童は、ゴールできたことが嬉しく何度も繰り返し取り組んでいた。



グラウンドでは、コースを作ってゲームを体験した。高等部の生徒達は、白熱したゲームを展開していた。

③事後学習

高等部では、学校祭後に体育の授業でグラウンドゴルフを行い、地域のグラウンドゴルフチームの方々を招いてゲームを楽しむことができた。

(2) 12月11日(金)

「グラウンドゴルフ ゲームを楽しもう」高等部

①事前学習

グラウンドゴルフのコースの周り方や、スコアの付け方等を学んだ。


チームに分かれてゲームを行い、地域のグラウンドゴルフクラブの方々を招いてゲームする準備を行った。

②当日

本校生徒のチームに地域のグラウンドゴルフチームの方々も分かれた入っていただき、一緒にコースを回ってゲームを楽しんだ。

ゲームだけでなく、クラブの持ち方、向け方、ボールを打つときの足や体の位置等を教わりながらゲームができた。ボールの飛距離が伸び、ホールインワンが出る等、自分が上達しているという実感を持ち、自分からクラブチームの方へ教わりに行く生徒もいた。白熱したゲーム展開になり、クラブチームの方々とゲームを楽しみながら交流ができた。



	<p>③事後学習 交流以降も体育の授業でグラウンドゴルフに取り組んだ。 生徒側からクラブチームの方へ手紙が書きたいという要望があり、お礼のメッセージカード作りを特別活動の時間に行った。</p>
<p>6主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 学校祭では、動画を介して地域のクラブチームに方々と交流し、支援学校への理解に繋がった。 • 全校生徒が取り組めるように、場所や道具の工夫、コースの工夫を行い、どの児童生徒も楽しんで競技をすることができた。 • 学校祭の取組がきっかけになり、グラウンドゴルフへの興味関心が高まった高等部では、体育の授業で継続して競技に取り組めた。 • 地域のクラブチームの方々は、生徒と一緒にコースを回ってゲームをされ、支援学校の生徒の真剣に試合に取り組む姿勢に接し、支援学校について理解を深められた。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>(1)「学校祭 体験コーナー グラウンドゴルフ」 ～ボールをよく見て打ってみよう～</p>  <p>事前にグラウンドゴルフチームの方々と打ち合わせを行い、指導者が基本的なグラウンドゴルフのルールや実技を教わった。 小学部の児童用には、地域の小学校に設置されている「みんなのスポーツクラブ」より短いクラブを借りる連携を行った。 初めてグラウンドゴルフを経験する本校児童生徒のために、プレイルームに体験コーナーを設置し、グラウンドにはゲームコースを設置した。</p> <p>(2)「グラウンドゴルフ ゲームを楽しもう」 公式ルールブックでルールやスコアの付け方を学び、何度かゲームを経験した。 当日スムーズにゲームができるように生徒が準備から片付けまで役割を分担して取り組んだ。</p>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> • グラウンドゴルフや卓球バレー等の障害者も取り組みやすいスポーツを体育等で行う学級が増えている。学級だけでなく、校内や地域社会にも広げられるように、年間指導計画に地域社会と連携した内容を計画し位置づけていく。 • 生涯スポーツとして人気のあるグラウンドゴルフの経験をきっかけにして、様々なスポーツへの興味関心をもち、経験する機会をさらに広げ、オリンピック・パラリンピックへの関心も高められるよう指導や働きかけを継続する。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>次年度以降も学校祭ではスポーツコーナーを設置する。また、各学部の体育の授業で取り組む。 地域社会の方との日常的な交流ができるような機会を、担任と地域社会連携部が連携して設定する。</p>